

県内児童養護施設32施設に対する寄付目録贈呈式

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、県内の32児童養護施設に対して社会福祉法人神奈川県共同募金会を通じて、非接触型体温計とオゾン発生器を寄贈しました。

1. 日時	令和3年5月24日（月）
2. 場所	神奈川県遊技場協同組合 5階会議室
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合理事長 神奈川県福祉事業協会 会長 伊坂 重憲
4. 受贈者	社会福祉法人 神奈川県共同募金会
5. 受贈物件	非接触型体温計・オゾン発生器

4. 概要

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、昭和60年から社会貢献の一環として児童、障がい者等の支援を目的とした各種助成を行ってまいりました。

この度、県内の児童養護施設 32 施設に対して社会福祉法人神奈川県共同募金会を通じて非接触型体温計とオゾン発生器を寄贈することになりました。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な社会貢献活動が中止となり今後も実施のめどが立たない状況の中、神奈川県共同募金会を通じて県内の児童養護施設に対し、「コロナ禍での必需品は何か」とアンケート調査を実施した結果、コロナ対策機器への要望が多く、神奈川県共同募金会を通じて寄付することを決定しました。

これに対し、共同募金会押川副会長からは「コロナ禍での支援に頭が下がる思い。頂いたもの（体温計・オゾン発生器）を各施設の皆様に活用いただきたい。

また、児童福祉協議会鶴飼一晴会長からは、「今園の子どもたちは賑やかに遊んでいます。園児たちが変わらぬ日常を過ごせるよう、頂いたものを活用させていただきます」と謝辞をいただきました。

この寄贈式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞、産経新聞に掲載され、タウンニュースでも紹介されました。



押川副会長と伊坂会長



押川副会長を交え神奈川県福祉事業協会役員